

平成29年度 第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 平成29年5月24日（水）
2. 開催場所 旧北秋田市中心公民館2階 式場
3. 開会及び閉会 開会：午後2時25分 閉会：午後4時
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委員 永井 高道
委員 佐藤 正俊
委員 吉田 美樹
委員 小林 真
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長 松橋 久司
総務課長 金澤 聡志
学校教育課長 佐々木 馨
生涯学習課長 宮腰 正樹
スポーツ振興課長 水木 正範
総務課総務係長（書記） 畠山 久子
7. 案件 (1) 北秋田市教育大綱（生涯学習編）の変更について
(2) 平成29年度主な教育施策について
(3) 意見交換

8. 会議録

松橋教育次長	<p>ただいまから、平成29年度第1回北秋田市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>はじめに、津谷市長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>教育委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今年度の第1回北秋田市総合教育会議の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>まずもって、教育委員のみなさまには、日頃より当市の教育行政の発展にご尽力いただき心から感謝申し上げます。</p> <p>今回の総合教育会議は、佐藤教育長の5月1日就任に伴いまして新たな教育委員会体制による初めての開催となるわけですが、教育委員の皆様と意見を交わしながら当市の教育をより一層充実させるための重要な会議であり、皆様と共に地域で子どもたちが元気で夢を育むような体制をしっかりと構築して参りたいと考えているところであります。</p> <p>本日の会議においては、本年度の教育施策と、新しく策定いたしました第3次北秋田市社会教育中期計画の各種事業の重点施策を議題の中心として進めて参りますが、委員の皆様には、市の教育を更に充実させるよう忌憚ないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、甚だ簡単でありますが開会のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくをお願いいたします。</p>
松橋教育次長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、佐藤教育長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
佐藤教育長	<p>教育長に就任して3週間が経ちました。この間、運動会や生涯学習関係、スポーツ関係の行事に参加して、1歳から高齢者といった幅広い方々と触れ合った。印象に残っているのは、旧合川町で開催の42回を数える誕生の森記念植樹で、4世代の家庭の参加もあって、42回という数字の重みを若い人たちにも考えてもらいたいということや、それだけ地域が子どもに期待をしていることを感じてほしいと話してきました。児童クラブの側にあじさいを植えました。小学生になっても見られる場所で良かったと感じました。</p> <p>さて、運動会に参加して、各学校で子どもたちが行事に非常に前向きに取り組んでおりました。各学校とも活力あるスタートを切ったように感じています。どの種目も笑顔いっぱいの学校に安心感をもった。学校教育と家庭教育がとても良い方向に連携していることが、子どもの心の安定に繋がっていると感じてきた。今後取り組む、地域も含めた地域協働活動についてですが、後ほど生涯学習課長から説明しますが、地域学校協働活動を目指した取</p>

佐藤教育長	<p>組により、地域の活性化に加えて、将来この地域を支えていく子どもたちが増えていくことを期待しているところであります。皆さんで膝を交えて、知恵を出し合って進めて参りたいと考えております。</p> <p>生徒指導について「教育長資料」をご覧ください。平成28年10月に「秋田県いじめ防止対策推進条例」が制定され、それを受けてこの3月に「秋田県いじめ防止等のための基本方針」が改訂されたところであります。それに伴い、平成26年に策定した「北秋田市いじめ防止等のための基本方針」を改訂しました。資料アンダーライン部分が改訂部分になります。いじめは、どの児童生徒にも、どの学校でも起こりうることの認識を皆さんで改めて確認したいと思っております。いじめの認知件数は増えたのではないかと言われますが、数が増えたというのは、アンテナが非常に高く張られてきて、よくキャッチしていることを指しています。いじめの定義を資料では4つ示しているが、「継続的に」「深刻な苦痛」でなければいじめでない、ということではなく、4つ全てがいじめであるということです。いじめの防止についての目玉は、市民全体で取り組むことです。市民全体と関係者が一体となって継続的な取組あるいは啓発活動をしていくところが今回の大きな改正の方向であります。いじめの早期発見では、いじめを正確に漏れなく認知すること、というところにあります。いじめへの対処では、解消に至るまで被害者への支援を継続することにあります。解消とは、いじめの行為が止んでいること、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと、この2点で定義しています。関係機関等との連携では、スクールソーシャルワーカーと医療機関を付記したところにあります。スクールソーシャルワーカーは、これまで北教育事務所で校長等経験者1名を配置していましたが、予算を増額して今年度からは社会福祉士等資格を要する方を1名配置しております。この2名でもって、我々と連携していけるような体制をとった上、未然防止にあたり、医療機関とも連携していきます。そして、重大事態への対処については、重大事態が発生した時に、教育委員会から市長に連絡するとなりました。調査は、学校の設置者又は学校に組織を設けて行うとなっておりますが、学校の教育活動に支障が生じる恐れがあるときには、市が主体となって行うこととしました。調査の公平性、中立性を確保した組織で構成し、市が主体となって調査を行います。従って、調査した結果は市長に報告するといった体制ができていくこととなります。調査によって明らかとなった事実関係は、いじめを受けた児童生徒、保護者に対し適時適切な方法で報告していくといった調査結果の取扱いも明記しました。こういったところが、県条例が出来て基本方針が改訂となったところで、市としても基本方針の改訂を行い、いじめによる重大事態が発生しないように丁寧に取り組んでまいります。</p> <p>次に、昨年12月に実施された「秋田県学習状況調査」の結果について。本市の児童生徒の結果は、全ての学年、全ての教科において、県平均を上回っています。全国でも秋田県の成績が良好な中であって、このことは極めて</p>
-------	---

佐藤教育長	<p>良好な状況であると認識しております。今後、習得した知識が生活に結びつく学習となるよう取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>最後に報告ですが、全県大会で、森吉中学校男子ソフトテニス部が団体優勝、野球では合川中学校が3位とスポーツ面でも活躍しています。朝野球、早朝テニスの開始式でも元気な大人を見てきた。東日本実業団陸上では、北秋田市出身の相馬絵里子選手が女子100メートル障害で初優勝するといったビッグタイトルも飛び込んでいます。今後もスポーツを通じた仲間作りや交流を推進するといった面も推奨していきたいと思います。</p> <p>以上の事を申し上げまして、私からのあいさつといたします。</p>
松橋教育次長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、早速案件に入らせていただきます。進行につきましては、「北秋田市総合教育会議要綱」により議長は市長が行うこととなっておりますので、津谷市長に案件の進行をお願いしたいと思います。津谷市長よろしくお願ひいたします。</p>
津谷市長	<p>それでは、よろしくお願ひします。暫しの間、議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>では、早速案件に入ります。案件（1）北秋田市教育大綱（生涯学習編）の変更につきまして、生涯学習課長から説明をお願いします。</p>
宮腰生涯学習課長	<p>「北秋田市教育大綱生涯学習編の策定について」をご覧ください。今回示した大綱「第3次社会教育中期計画」は、平成29年度から33年度の計画です。これまでの5年間の計画も添えています。社会教育中期計画は北秋田市生涯学習の理念の実現を目指し社会教育に関する施策を体系的計画的に推進するため策定しております。第3次社会教育中期計画は県の動向、地域の課題を踏まえて向こう5年間の社会教育の指針を定め、施策の方向を示しました。基本理念、重点目標は、地域の背景、地域が教育に期待するものとして、個人学習の充実に加え、少子高齢化や人口減少の社会情勢に対し、市民一人一人が当事者意識を持ち課題解決に取り組む人材育成を目指すものとなっております。この背景の中で、中期計画は、ビジョンの共有と、ネットワークの連携や地域コミュニティ確立により、学校教育と社会教育を両輪とした生涯学習の推進を目指すものであります。そのため、重点事項を「支援から協働へ」として、総合学習が活発となるような環境を整備し、連携を仕掛け、地域が一体となった協働を推進するといたしました。（パンフレット説明）以上です。</p>
津谷市長	<p>ただ今の説明について、ご質問ご意見をいただきます。なにかございませんか。</p>

津谷市長	無いようですが、今後お気づきの事があればご発言ください。それでは次に、案件（２）平成２９年度主な教育施策について、各課から説明をお願いします。はじめに、学校教育関係について、総務課と学校教育課から説明をお願いします。
金澤総務課長	総務課から申し上げます。１ 校舎修繕事業については、工事費１００万円以上の事業を記載しました。２ 鷹巣北部給食センター食器洗浄機購入は、経年劣化による修繕できないため更新するものであり、夏休み中の工事と、休み明けの稼働を予定しております。３ あきたリフレッシュ学園と教育留学事業について。リフレッシュ学園入園生９名、教育留学生１名。教育留学事業については、６月５日から３０日まで埼玉県朝霞市より小学５年男子児童１名の留学、在籍は合川小学校を予定しております。短期体験留学については、８月２５日から３０日まで予定し、昨年参加した子どもたちから好評で、今年の申込みがかなり来ております。以上です。
津谷市長	続いて、学校教育課から。
佐々木学校教育課長	１ 校務支援システムについては、先生方の事務の効率化を図るために導入するものです。公告、受託候補者決定、納品、基データ入力完了、教職員研修を行い、平成３０年度運用を予定しています。２ 小・中学校の再編では、森吉中・阿仁中統合と、阿仁合小・大阿仁小・前田小の統合が未定になっておりますので、保護者や地域住民と話し合いを実施したいというところです。話し合いの中でアンケート実施の要望があれば検討して、次回話し合いで、結果を示しながら話し合いを進めていきたいと考えております。３ 道徳の教科化への対応については、小学校は来年度、中学校は３１年度から道徳が教科となりまして、先生方の研修も既に始まっています。県通知を受けてから、指導要録の様式を変更する予定であります。以上です。
津谷市長	ただいま説明のありました内容について、ご意見ご質問はございませんか。
小林委員	校務支援システムはタブレットのことでしょうか。
佐々木学校教育課長	これまで、それぞれ手で書いていた通知票、成績表、出席簿、保健、指導要録の内容が、データが連動して共通管理されるシステムです。事務時間が短縮され、先生方の子どもとの学習時間が確保されます。
津谷市長	ただいまの小林委員の質問に関してではありますが、先生方の中には仕事を自宅に持ち帰っている先生もいます。できるだけ、負担を軽くして、時間に

津谷市長	余裕を持たせて、子どもに向き合う時間を持たせたいと思います。先生たちにシステムをマスターしていただきたい。
松橋教育次長	システムメニューについて。出欠、成績管理、通知表作成、保健管理、職員動静などができますので、先生方にしてみれば、相当な事務作業が減ると思います。先生方がシステムに慣れたらメニューを増やして、1回の入力で各種様式が整えるようにしたい。
小林委員	教育委員会では、例えば東小学校と入力すれば成績が見れるような、把握ができるようになるのですか。
松橋教育次長	認証に関係することでありまして教育委員会では全部の管理はしません。全機能管理、アクセス権限は校長にあります。担任以外のクラスの成績は見られないなど、学校内でもアクセス権限は制約を持たせています。教育委員会でシステムの中身を見られるようにはならないものです。
佐藤委員	先生方の多忙は今も変わらず、先生方の帰宅は遅くなっています。学校の電気が8、9時でも点いている事を考えると、このシステムはとても良い。ただ、これから道徳が教科となり、英語の授業も入ってきて、先生方の負担が大変だと感じています。教科が増えることで、どうやって先生方の多忙を押さえるかは課題です。教育委員会としても指導にしっかり目を向けていかなければ、子どものいじめ問題も解決に結び付けるのが難しいでしょう。
佐藤教育長	私は道徳の指導が好きで、子どもと一緒に考えるのが好きでした。道徳が教科化されて大変と思うか、いい時間をもらえたと思うか、だと思います。教育委員会として、先生方に負荷をかけないで、人の生き様を子どもと一緒に話し合うというスタンスで話していこうと思っています。
小林委員	道徳という教科がなくなったのはいつでしょうか。昔はあったと思いますが。
佐藤教育長	昔は教科ではなく、道徳の時間でした。
佐々木学校教育課長	教科となることで、評価することになります。
佐藤教育長	道徳の評価については国でも議論されているところで、どのように評価できるのか難しいと思います。私は、成長の記録としてとらえていて、それを

佐藤教育長	保護者に伝えていくもの。そういった所が評価となっていくと考えています。
永井委員	佐藤委員の発言に関連して。北秋田市独自で教員の多忙化について講じていくことは難しいと思いますが、国の調査に表れているように、かなり勤務状態が厳しい状態にある。北秋田市独自の取り組みと同時に、例えばスポーツの練習などの見直しも含めた、全県レベルの対応がなければ市の効果的な対応はできないのではと考えております。それから、道徳の問題も、これは県や国の段階の所までいかないと難しい。そういう点を踏まえておかないといけないと思っています。
佐藤教育長	全国や全県でのこのようなシステムの導入状況について、情報を掴んでいますか。
松橋教育次長	校務支援システムの導入は全国でも始まったばかりで、秋田県内でも本格的に導入しているのは秋田市だけです。一部導入は、鹿角市、小坂町。どちらもサーバー方式である。北秋田市はクラウド方式での導入で、これは災害に強いという良いところがある。大手業者を想定している。県内でのクラウド方式は、北秋田市が初めてになります。
佐藤教育長	力強い応援になるので上手く学校で活用し、教員が子どもたちと向き合えるようにしたいものです。
津谷市長	先生方の負担を軽減していくよう、よろしく願いいたします。 この件についてはよろしいでしょうか。それでは、ただ今いただいたご意見を十分に参考にしながら本年度各種事業を進めていただきたいと思います。では次に生涯学習課からお願いします。
宮腰生涯学習課長	1 様々なチャンネルによる生涯学習事業の推進から申し上げます。職員出前講座は22講座。昨年は24講座、のべ54回開催しました。公民館講座は12公民館で35講座を予定しています。自主講座は140程あります。いつでも学べるよう情報を提供してまいります。2 時代を担う子どもたちの未来に繋がる事業についてです。(資料説明) 地域学校協働本部は、学校支援地域本部をバージョンアップしたもので、学校教育と社会教育の関係を支援から連携・協働に変更しています。新規である家庭教育支援チーム推進事業は委員8名に委嘱し、今年度は研修の年、来年からは実践の年としています。放課後子ども教室は、昨年実績として11教室、年間397回開催。一教室当たり36回。一回の児童参加は62名でした。今年度の放課後児童クラブは11施設で15クラス。昨年度は14クラスでした。現在54

宮腰生涯学習課長	<p>6人の申込みがあります。小学生1200人に対し利用率は49.7%であります。あきたわくわく未来ゼミは新規共催事業で、小中高校生を対象として地域の方々のご支援により、学習、学びの場を提供するものです。3 北秋田市民ふれあいプラザについて。憩い、交流の場として昨年4月にオープンし、3月31日までに23万6536人が来館しました。駐車場側入口からの来館が半数なので、出来るだけ正面入口からの利用が増えることを課題としています。貸し館率は昨年中央公民館と比較して22%増えています。今年度は昨年出来なかった賑わいづくり実践運営委員会の開催と補助事業まちづくり交付金の事後評価を進めてまいります。4 伊勢堂岱縄文館について。(資料説明)伊勢堂岱遺跡の見学環境整備事業を進めてまいります。5 縄文遺跡群世界遺産登録(17遺跡)の推進については、3月31日に文科省に対し4回目の世界遺産登録推薦書素案を提出しました。29年度国内推薦候補は、7月下旬の会議で決まる予定であります。6 伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイドにつきましては41人でありまして、研修のあと8月にガイド実施となります。7 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会、研修会について、北秋田市において7月13、14日の開催になります。参加は80人程度、宿泊は50人程度を見込んでおります。以上です。</p>
津谷市長	<p>ただいま説明のありました内容について、ご意見ご質問はありませんか。</p>
小林委員	<p>コムコム来館者23万6536人の年齢層別はわかりますか。多く来てくれる年代とか。</p>
宮腰生涯学習課長	<p>統計数字的なものはないが、一般の方の夜の研修の利用が多い。夕方は高校生の来館が多い。土日は小学生が来ている。</p>
津谷市長	<p>北秋田市外からの来館者もいる。電車でコムコムの会議にこられ、その後、飲食店洋品店を利用している方もいる。呼び込みに関して、コムコムだけでなく商店街の方々の協力の声かけも必要だという気がしています。</p>
宮腰生涯学習課長	<p>実践活動していきたいと思います。</p>
小林委員	<p>どうして正面玄関から入らないのでしょうか。</p>
宮腰生涯学習課長	<p>駐車場を利用している、車で来る方が多いようです。正面玄関からの来館は全体の18%です。</p>

津谷市長	<p>いかに正面玄関から入っていただくか。生涯学習課だけでは大変なので当然商店街の方の協力も必要だと思います。ほかにはないでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>先日、阿仁地区小中学校の運動会に行ってきました。大阿仁小学校は6月でまだこれからですので、昨年のことを思い出してのことですが、児童数が少なくて、学校を中心として地域ぐるみで、学校PTA、老人クラブ、婦人会、保育園など、みんなで運動会を行っていて大変ほほえましかったです。今年の阿仁合小学校も保育園をいれて運動会をしておりました。阿仁中学校35人の生徒数。行進では3年生保護者全員が参加していてよかったと思います。工夫次第でいい運動会が出来る。今後、再編といったこともありますが、それまで、生涯学習課の協力アドバイス、学校と話し合いを進めながらお願いしたいです。モデルとして大阿仁小学校がいい案配になっていると思います。前は竜森小学校もよくやっていました。そういった伝統を引き継いで鷹巣南小学校が取り組んでいるということもモデルであります。学校が地域から無くなっていく状況で、学校が無くなった地域が学校にどう協力していくかが大きな課題になると思います。</p>
佐藤教育長	<p>阿仁合小学校長と話して、地域を巻き込んだ行事を一緒に考えて行くことを提案しています。地域に出向いて積極的に支援していければというところです。</p>
津谷市長	<p>生涯学習課につきましても、様々なご意見をいただきました。地域と学校が巻き込んだ運動会の話もありましたが、そういった地域の賑わいの作り方を含めて、参考にしながら進めて参りたいと思います。最後にスポーツ振興課からお願いします。</p>
水木スポーツ振興課長	<p>1 鷹巣体育館外壁改修工事について。昭和48年建築で44年経過し、サブ体育館は昭和58年建築で34年経過しました。耐用年数47年を想定しています。平成3年、平成7年に改修工事をしています。現在外壁剥離、破損がみられることから整備を行うものであります。2 中央公園野球場改修工事も、破損箇所が多く安全性の向上を図るために整備を行うものであります。昭和50年建築で42年経過しております。大きな工事は昭和63年、平成6年、8年に行っています。下水道接続、芝生の養生も行うものです。中央公園野球場工事は10月1日からを予定しています。3 チャレンジデー2017について。市は5回目の参加で、相手は茨城県行方市です。目標参加率60%と、三年連続金メダルを目指しております。周知として市内自治会長、各事業所の戸別訪問を行っています。当日はオープニングイベントの市長杯ユニカール大会のほか買い物ウォーク、バスケット、市内全域ラジオ体操の実施などを予定しております。4 100キロチャレンジマ</p>

水木スポーツ振興課長	<p>ラソンについて。今年度と平成30年実施も決定しています。観光イベント等他部門との連携によるPRを計画しておりまして、今月25、26日の商工観光課による大山商店街特産品出店では、100キロチャレンジマラソンチラシ配布をお願いしていて、東京圏あに会、東京鷹巣会、森吉会でも行う。ホームページでも動画配信を行う予定であります。内陸線深夜便運行も計画しています。</p> <p>5 スポーツ・文化合宿誘致について。交流人口拡大による地域活性化を図る、今年度からの事業です。合宿実績のある立正大学に継続のお願いをされていて、東北、北海道、首都圏の大学にも文書案内する予定です。</p> <p>6 スポーツ推進計画の策定について。「みる、する、ささえるスポーツ」による参画人口拡大を図り、29年度までの五箇年にわたる市スポーツ推進計画により進めてまいりましたが、引き続き30年度から34年度までの計画策定を進めていくものであります。以上です。</p>
津谷市長	<p>ただいまのスポーツ振興課の説明について、ご意見ご質問はありますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>沢山の市職員の中の人材活用についてですが、走る人、フェンシング、柔道をする人など陰に隠れた人材をチャレンジデーに上手く活用できないでしょうか。そういうアイデアはないでしょうか。</p>
津谷市長	<p>100キロマラソンであれば職員も選手で出ています。選手として高いスキルの職員がいます。人材活用してチャレンジデーに何かやるとか、子どもたちを指導するのもいいと思います。スポーツ合宿誘致に関して私から。指定管理の市民プールでの来年2月の秋田県水泳マスターズの交流大会の計画があります。そういったものを引っ張ってくるのも一つの手としてあると思います。陸上競技、スキーもあると思うので工夫を凝らしていく必要があると思います。</p>
佐藤教育長	<p>本市には、スポーツ人材リストはありますか。</p>
水木スポーツ振興課長	<p>ないです。</p>
佐藤委員	<p>職員にすばらしい人材がおられますね。</p>
小林委員	<p>ホームページとかで、そういう人にスポットをあててコメント入れるなど個人的に光ってもらったら良いと思います。もったいないです。</p>

津谷市長	<p>今後工夫して。人材活用についていいご意見をいただきました。ただ今の意見を反映させながら、スポーツ振興について進めさせていただきます。</p> <p>その他にありませんか。では、続いて案件（3）意見交換になります。市の教育について、日頃感じていること、課題などをフリーにお話しいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
永井委員	<p>最近の報道で、横手市が市史編纂の後で「ふるさと横手」というような小学校から中学校まで利用できる副教材の作成に入ったと伺いました。小坂町では町史編纂室を設置しました。大館市では中学校副教材が完成し、従来になく充実したものができたと聞いております。生涯学習にも関連すると思いますが、そろそろ北秋田市史の編纂に乗り出す時期でないかと思います。編纂室などを立ち上げる前に、そういった研究をしている団体が市内にはありますので、声をかけて事前の会議を招集するということからなど、話し合う作業だったら、すぐに出来ると思います。緩い形でスタートして、目処が付いた段階で編纂室といったものを立ち上げるといった、そういう時期に入っても良いのではないかと思います。</p>
宮腰生涯学習課長	<p>市史編纂に役立つと思われる書籍リストを作成したので報告します。（リスト配布説明）旧町の町史など46冊があり、それぞれの公民館にあります。</p>
津谷市長	<p>永井委員から、編纂室立ち上げの前に緩くても良いので形作ったらどうかのご意見がありましたが、委員の方々含めて事務局からもやり方などで意見があればお願いします。</p>
永井委員	<p>一番のねらいは、市史の内容が懐古的だと若い人たちの興味がわからないことです。横手市「ふるさと横手」の場合は、歴史のほか現代の課題というところに力点を置いていますので、市の抱える課題、今後の見通しなど、学習にも関連したすばらしいものになっています。北秋田市でも参考にして、学習にも取り入れられるようにしたらと思います。市史編纂から副教材に発展していけるようにするこのやり方だと、現場の人たちが負担にならないです。市には毎年膨大なデータが集まるのでそれを活用するなど、そういう形で是非進めてもらいたいと思います。</p>
松橋教育次長	<p>どのくらいの年数で作ったのでしょうか。</p>
永井委員	<p>横手は市史編纂に10年と聞いています。その中心の職員が今の副教材作成にも関わっていると伺いました。</p>

佐藤教育長	北秋田市のふるさと要覧用の学校教材は毎年更新していますが、市史のような形ではないです。
津谷市長	北秋田市としても作っていかなければならない。市史編纂をどのような形でもっていくのか、ほかにも参考にして検討していかなければならないところです。
松橋教育次長	昨年議会で、前教育長から教育委員会だけで出来るものでないと回答していますし、市全体で考えていかなければならないです。永井委員の言うとおり、前段階にはそろそろ着手しないと。
津谷市長	教育委員会だけでは難しいことで、市として横断的にやっけていかないと。総合政策課もかみながら、どういうやり方があるかスキミングして検討してほしいと思います。
松橋教育次長	いろいろわかっている人が高齢化しています。
小林委員	そうとう大きなプロジェクトになりますね。町村合併して市となっていますし、市史として作成するとすると大変なこと。早くできあがりが見たいです。
津谷市長	まず検討していくということで。
松橋教育次長	今年度着手する準備に入りたいです。
津谷市長	ほかに何かありませんか。吉田委員からいかがでしょうか。
吉田委員	運動会で気になったことです。合川地区は運動会がお昼で終わるのが、親御さんがお弁当づくりを大変に感じているからということでした。そういう時代を過ごしてきた子どもたちが親御さんになってきていて、今年聞こえてきたのは、小学校のうちは運動会が半日で終わるよう要望が出たとか。学校側が半日で終わるようにしたとか。学校側でも親の要望を何でも聞き入れるのはどうなのかと感じました。生涯学習課で家庭教育支援チームを今年立ち上げるといっていますが、今まではこういうことを必要ともしませんでした。保護者の横のつながりで相談し合うとかがあって、家庭でも同居スタイルが当たり前でおじいちゃんおばあちゃんから受け継いでいるものがありました。それで育児を覚えていくのですが、今は単身世帯が増えて親も上から見られるものがないのでわがママが通っています。それがそのまま学校に向かっていてスポ少もそういうのがあると聞こえてきています。それを見た子ども

吉田委員	ももわがままになる。その辺が大変難しい時代になったと思います。そういう場を通して、我慢を知るといふか、みんなと調和を教えることも必要な時代になったのかと感じました。
津谷市長	現場でも聞こえてきていますか。
佐々木学校教育課長	初めて聞きました。
小林委員	運動会。1，2年生は午前中で終わりですか。
佐々木学校教育課長	競技は午前中で終わります。兄弟がいる子はお弁当を食べていました。
佐藤教育長	仕出し屋が運動会場にお弁当を届けにくるのも気になっていますが、それぞれに事情があるのかなと考えますがいかがですか。
吉田委員	小中の運動会が続くと二日続けて作るのは母としては大変で、中学になると個人のお弁当になるので一つずつ作ることになる。周りとも声をかけあってお弁当を注文して、その代わり小学校のお弁当はがっちりとするようにしていました。
佐藤委員	時代が変わりました。重箱や手作りの家庭のあったかみがなくなった。コンビニができたこともあります。
佐藤教育長	みんなと一緒に食べることなどコミュニケーションをとることが大事だと思います。会話など、そういった所を大事にするような家庭支援チームにしていければと考えます。
永井委員	秋田市辺りでも保護者会で昼前に終わるといった事が質疑されて、親同士でも意見が割れていて、お昼で終わることに押し切られた事があります。
佐藤教育長	何事も議論することは良いことです。
吉田委員	いい方向に向かって変わっていくのであればと思いますが、難しい。
津谷市長	それでは、よろしいでしょうか。意見交換はここまでとさせていただきます。貴重なご意見、誠にありがとうございました。本日の案件が終わりましたので進行を事務局に返したいと思います。

松橋教育次長	<p>活発なご意見ありがとうございました。</p> <p>続いて、次第の5 その他でございますが、何かありますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>学校再編についてですが、今後統合するだろうという頭の中で考えて行くと、現在いる子どもたちが可哀想な気がします。統合するから今は、ということではなくて、教育委員会は今いる子どもたちを大事にした環境設備を基本にして注意しながらやっていかなければということをお願いしたいです。</p>
松橋教育次長	<p>ほかによろしいでしょうか。貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>では、以上を持ちまして、平成29年度第1回北秋田市総合教育会議を閉会したいと思います。本日は誠にありがとうございました。</p>

(午後4時00分 閉会)